

令和4年度 第3回社会教育委員会議中原市民館専門部会 会議摘録

- 【日時】 令和4年12月12日（月）14時から16時30分まで
【会場】 中原市民館第3・4会議室
【出席者】 鈴木部会長、菊地副部会長、梶川委員、中道委員、但野委員、滝沢委員、木村委員
【欠席者】 日吉委員
【事務局】 石川館長、船津係長、小栗係長
【傍聴人】 0人

専門部会の委員8人中7人が出席し、委員の過半数を満たしており、部会は成立。

1 開会

2 部会長あいさつ

3 資料確認

- 資料1 令和4年度第2回川崎市社会教育委員会議中原市民館専門部会摘録（案）
資料2 市民館の管理運営について
資料3 中原市民館社会教育振興事業計画（令和4年度）
資料4 令和5年度市民自主学級、市民自主企画事業の選考について
参 考 各市民館専門部会の検討テーマについて

4 第2回専門部会の議事録（案）について

5 議事

（1）報告事項

- ア 市民館の管理運営について
- イ 社会教育振興事業について
- ウ その他

（2）協議事項

- ア 令和5年度市民自主学級、市民自主企画事業の選考について
- イ 令和4・5年度の調査審議について
- ウ その他

6 その他

- （1）第4回専門部会の日程について
- （2）その他

7 閉会

<会議録・質疑応答>

1 開会

事務局（船津係長）

2 部会長あいさつ

鈴木部会長

3 資料確認

事務局（船津係長）

4 第2回専門部会の議事録（案）について

事務局（小栗係長） 資料1について説明（了承を得た）

5 議事

（1）報告事項

ア 市民館の管理運営について

事務局（船津係長） 資料2について説明

木村委員 中原市民館でも利用率を向上させなければいけない状況か。

事務局（船津係長） コロナの影響で歳入が減っているという状況があるのと、特に夜間の利用は少ない状況にある。

但野委員 インターネットの回線が利用しやすくなっているとのことだが、会議室を使っても目につかない。どのような案内をしているか。

事務局（船津係長） どのように案内したらよいか、御意見をいただけないか。現在は、ホームページでの広報と館内への掲示をしている。

但野委員 館内はどこに掲示しているか。

事務局（船津係長） 2階の掲示板と該当の部屋の壁面に掲示している。現状は、すべての部屋に環境が整っているものではないので、あまり積極的にPRはしていない。全館実現した際には、皆さまから御意見などをいただきながら、積極的にPRをしていきたい。

但野委員 予定としてはどのようになっているか。

事務局（船津係長） 2月の休館日以降に供用できる状態になることを期待している。その際は、ホームページでの広報と会議室内での案内、掲示物の掲出を検討している。何かアイデアがあれば教えて欲しい。

但野委員 利用者から見に行かないとわからないというところが気になる。掲示板にしても、一般的な利用者は見る習慣がない。

中道委員 インターネットの回線の状況については、インターネットを利用した時に分かるのではないか。そうだとすれば、現時点では、ホームページで掲載されている

ならば、そこまでの広報は必要ないと思う。仮に全館で利用できるようになったならば、その際に建物の入口などに、館内で利用できる旨を表示すると良いのではないか。

木村委員 使えるならば、使いたいという利用者や、オンラインが可能ならば検討しようという利用者がいる可能性もある。

中道委員 全館利用可能となった際に、利用可能と案内していただければ良いのではないか。

木村委員 市民館だよりでも案内したらどうか。

但野委員 インターネットの回線は、有線と無線で違いはあるか。何か機器を借りる必要があるのか。

事務局（船津係長） 基本的には有線で利用してもらうことを想定しているが、無線ルーターを貸し出す予定もある。無線ルーターを借りていただければ、会議室にある回線の差込口から接続することにより、無線を利用できる。

但野委員 そうすると、受付で無線ルーターを借りる必要があるのか。

事務局（船津係長） 必要な方に貸し出しをさせていただく。有線で接続する方については不要である。有線の方が通信の安定性が高く、オンライン会議などでは、有線の方が切断の心配が少ない。

但野委員 インターネットに関する知識もまばらだと思う。インターネットで広報する際は、詳しい利用方法なども掲載してもらえると良いと思う。

イ 社会教育振興事業について

事務局（小栗係長） 資料3について説明

木村委員 デジタルサポート支援事業のデジタル支援会の参加者数を教えて欲しい。また、地域の寺子屋事業のコーディネーター養成講座の参加者数も教えて欲しい。

事務局（小栗係長） デジタル支援会は20名程度、コーディネーター養成講座については6名程度となっている。

木村委員 終了した事業については、できれば、今後は参加者数を記載するようにしてほしい。また、市民館だよりと募集チラシも配付していただきたい。

ウ その他

但野委員 動物との共生事業で、平和館と連携とあるが、どのように関わっているのか。

事務局（小栗係長） 動物との共生事業は、動物愛護の学びを通して、いたわり・思いやりの心や生命・自然を尊重する精神を育むことをねらいとしており、平和館の考え方も共通する部分もあるとの観点から、平和館を会場としたり、平和館の職員の方に登壇いただくなど、連携して実施している。

但野委員 動物については、どのような内容だったのか。

事務局（小栗係長） 以前に地域の寺子屋事業の中で、シェアドッグというカリキュラムを実施している。タワーマンションが多い土地柄の中で、犬は好きだが、飼えない、触れ合う機会が無いという声が多く、参加者数に制限を設けざるを得ない中で、大変な人気だったと聞いている。近時はそのような状況も多く、ニーズも高いと推察され、命の尊さの学習という観点からも、動物を取り上げることには意味があると考えている。

（２）協議事項

ア 令和５年度市民自主学級、市民自主企画事業の選考について

事務局（小栗係長） 資料４について説明

木村委員 昔の中原市民館は提案数が多く、選考で落とさなければならず大変だったと聞いている。今年度は学級１、企画２となっているが、近年の応募状況を知りたい。また、今年度の実施団体の動向と、新規の相談状況を教えて欲しい。

事務局（小栗係長） 認識している中では、過去に１度、選考が必要な状況になったことがある。まだ募集前なので確定したことは申し上げられないが、現状では、そのような見込みとはなっていない。

鈴木部会長 申込の団体数によって、審査の厳しさが変わるということか。

事務局（小栗係長） 予算に限りがあるので、団体数と、それぞれの団体が望む経費額が影響することになる。

但野委員 今年度の実施団体は、どのように確認できるか。

事務局（小栗係長） 資料３を参照願いたいですが、しなやかファミリー会は、子育て関係の提案、ごみるんるんは、環境問題関係の提案、デジタルサポートの会は、スマートフォンなどのデジタル機器の使い方支援等の提案をさせていただいている。御不明な点が多々あるかと思うが、何でも聞いていただければと思っている。

木村委員 企画提案書は、事前に送っていただけるか。

事務局（小栗係長） そのように予定している。

木村委員 初めて選考委員になる方もいると思うので、何か不安な点があれば、事前に事務局に相談できるということでしょうか。

事務局（小栗係長） 何でも相談していただいて、安心して臨んでいただければと思っている。本番当日は事務局の立場となるので、審査に立ち入ることはできないが、不安な点があれば、事前に十分な説明をさせていただきたいと思っている。

イ 令和４・５年度の調査審議について

鈴木部会長 これまで調査審議テーマの議論をしてきた。前期の中原市民館専門部会のテ

マは、「地域を子どもと一緒に学ぶ中原市民館」として実施した。引き続き、今期のテーマについて、御意見を伺いたいと思う。

木村委員 前回の専門部会で、日吉委員から「区民意見を反映できる仕組みがあると良いと思う。」という御発言があり、それを形にできないかと思っている。また、前期の報告書を拝読して、議論の結果が市民館事業に反映されている部分もあったし、良い循環になっていると思った。自分の意見に固執するつもりは無いが、中原市民館が近い将来、指定管理者制度に移行するので、これからの市民館に向けて、私たちの意見も表さないといけないと思うが、せっきくの機会なので、どういう市民館になっていった欲しいかという市民の意見や市民館に関わってきたボランティアの声など、未来の市民館に向けたメッセージをまとめることができたらと思っている。そうすれば、指定管理者にもそれを読んでいただき、社会教育振興事業だけでなく管理運営事業についても、市民の意見を反映し実施してもらうことができるのではないかと考えている。

鈴木部会長 完全に指定管理者制度になるのは、いつか。

事務局（石川館長） 予定では、令和7年度である。

鈴木部会長 現在所属している方が、指定管理者として運営するのか、他から来るのか。

事務局（石川館長） 指定管理は、民間の方が手を挙げて、一番良いところが落札する。今所属している職員が、そのまま市民館で働くという事は無い。ただし、社会教育振興部門については、区役所の方に残って、各種講座を企画したり、実施をするという話がまとまっているところである。

鈴木部会長 市民館だよりに掲載されているような講座などは、引き続き、区役所に残るという事か。

事務局（石川館長） 各種教室・講座については、無くなるという事は聞いていない。

木村委員 講座などは無くさないまま、民間の方が、中原市民館を運営するという事でよいか。

事務局（石川館長） そうだ。

木村委員 学級・講座は今までどおり、市民からの「こういう講座をやって欲しい」という意見も入れつつ、やっていくのだとすると、それはどこが担うのか。

事務局（石川館長） 指定管理者と区役所の当該部門が一緒になって企画をしながら、運営していく。

鈴木部会長 基本的には、いままで関わってきた人たちは、いままでどおり活動できるのかどうか。地域教育会議で活動しているが、子ども会議などでも施設を使って活動しているが、そのようなことは今までどおりできるのかどうか。

事務局（石川館長） 今までの枠は壊さないのではないかと。ただ、施設利用にあたっては、見直しを検討するかもしれない。

鈴木部会長 そうすると、会場使用料の支払いなど、負担が生じるか決まっていらないが、行政も関わっている活動だが、どうなるのか。

事務局（石川館長） そのような会議は残ると見込まれる。指定管理者は少なくとも5年間の期間の設定があり、未来永劫同じ主体が担うものではない。市の考え方とか教育委員会の考え方というのは、行政と直にやるという考えで動いていると思う。

木村委員 今がとても大事な時期だと思う。時期が迫ると何もできなくなってしまうので、今言えることは言っておきたい。ただ、私たちの意見だけではなく、市民の声のほか、ボランティアの声も、一市民としてだけでなく、中原区民のために活動してきてくださった方々だと思っているので、そうした声も残していけたらと思っている。それが具体的に、どのような場でできるのかなど考えたときに、事業計画の中で、例えば、生涯学習交流集会などで聞けるのではないかと。そのほかにも、地域教育会議や文化協会のみなさんが開催される人が集まる機会に、これからの市民館に向けたメッセージを書いてもらい、それを専門部会委員が集計してまとめられないかと思っている。そして、指定管理者制度に移行する前に、私たちが考える「核となる大事なもの」を届けられたら良いと思う。

梶川委員 思いというのは、話さないと伝わらない部分もあると思う。

木村委員 1回だけでもいいので、各団体で、これからの市民館について話し合う時間を作っていただき、御意見をまとめて、この会議にあげていただけたら、日吉委員が発言された「区民意見を反映できる仕組みがあると良いと思う。」が実現できるのではないかと。例えば、デジタルサポートの支援会に参加される方なども、普段市民館には来られない方だと思うので、そういう方の御意見も吸い上げていただくことができたら良いと思う。3月5日の生涯学習交流集会のテーマは決まっているか。

事務局（小栗係長） 例年を踏まえると、今年度活動した市民自主団体から報告をいただき、講師の方に講評をいただくことなどになると見込んでいる。

木村委員 例年どおり、市民自主の報告会だけをやっていれば良いという段階ではないと思う。

鈴木部会長 令和7年度も専門部会はあるのか。

事務局（石川館長） 無くなるとは聞いていない。

鈴木部会長 あまり欲張らないで、テーマを設定できると良いのではないかと。

事務局（船津係長） 今回参考で配布した専門部会のテーマに係る資料について、前回は説明したが、改めて説明したい。例えば、幸市民館と麻生市民館の例をみると、何か

しら課題があって、それを解決するための提言をしている。これは課題に対して提言を行うという形である。それから、皆さんで議論したアイデアを市民館で実現するという形がある。また、高津市民館のように、課題への対応策を実施した結果について、一連の流れを伝えて提言するという形もある。皆さんの対話からテーマが生まれることもある。あと残り5回の中でまとめていく必要があり、いずれはテーマを決めて、その方向に向かって議論していただく必要がある。

鈴木部会長 最初からテーマを意識するのではなく、何か気になる点があったら、発言してほしい。

菊地副部会長 最後は、人と人のつながりだと思っている。キーワードとして思いつくのは、「生きがい」「市民同士のつながり」「ふらっと立ち寄れる」「敷居が低い」などで議論できると良い。

滝沢委員 私は、地域のつながりは、大事なことだと思うし、市民館のいまの活動のあり方などもテーマとして良いのではないか。

中道委員 私の経験だが、サークルを探している方が、受付に立ち寄ったことをきっかけに連絡を受けたことがある。引っ越してきた方や、仕事を引退された方などが何か始めるきっかけになる役割を、中原市民館がより一層担えると良い。

梶川委員 私も同様の経験をしている。中原市民館を知らない人もいるから、PRも必要。また、小学校から伝統文化を学ぶというテーマで声をかけられたこともある。

鈴木部会長 まだ整理ができていないが、子どもの貧困などが気になっている。子ども食堂などにも関わっているが、そのような事を何とかしたいという思いはある。

事務局（小栗係長） いま皆さんから挙げた意見を手元でまとめると、「生きがいづくりを考える」「市民同士のつながりを考える」「敷居が低い市民館」「地域のつながりを考える」「市民館の役割を考える」「子どもの貧困を考える」などがあつたと思うが、何かテーマに結びつきそうなものはないか。

鈴木部会長 まだ時間がかかりそうなので、もう少し考えてみたらどうか。この件は、この程度で終わりにしたいと思う。

6 その他

(1) 第4回専門部会の日程について

事務局（小栗係長） 第4回の日程を皆様にお諮りした結果、2月5日（日）とさせていただきたいと思う。企画提案会があるため、開始時間は13：30、終了は16：30を予定している。

木村委員 企画委員会の前に、何かしら説明を受ける機会はあるか。

事務局（小栗係長） 委員の中には、審査を何度も経験されている方もいれば、初めての方もいらっしゃる。初めての方で、説明を希望される方がいる場合には、早めに御参

集いただくなど、説明の機会を設けている。

木村委員 次回は、審査が主になるのか。

事務局（小栗係長） 例年の第4回は、どうしても審査に時間がかかっている。

菊地副部会長 話が戻ってしまうが、調査審議のテーマがとても大事だと思う。部会長が子どものことをすごく気にされていて、有難いと思っている。子どもの権利の日に、「子どもが幸せであるためには、大人が幸せであることが大前提になっている」という話をしている。子どもたちも大人になっていくので、これまでの話を聞いていると、「生きがいつくりを見つけられる市民館」というあたりで、仮のテーマとして置いてみたらどうか。

木村委員 それならば、「これからの市民館に期待するもの」が良いのではないか。できたら、市民館の事業の中とか、各団体の中で、私が申し上げたようなことについて話し合いをしていただいて、1つでも2つでも、この場に持ち寄っていただけたら、この場で深めていくことができるのではないか。ボランティアとの打合せなどで、指定管理者制度のことは横に置いておいて構わないので、聞くことはできないか。

事務局（小栗係長） 何を聞くかを検討する必要があるのではないか。抽象的に「これからの市民館に期待するもの」と聞いて差し支えないのか。何に対してどういう事を期待するとか、質問するにしても、聞くべき項目があるのかとか、その辺の議論をせずに進めてしまって構わないのだろうか。

但野委員 出てきたものの内容を話し合う期間も必要ではないか。来年度になったら、また1から始めることにならないか。

事務局（小栗係長） 抽象的に「これからの市民館に期待するもの」を聞くということであれば、それで進める手法もあるし、来年度初回から、何を聞くかを議論してから始める手法もある。

滝沢委員 どういう手法で進めるかだ。

但野委員 来年度の第1回に資料が揃っていた方が良い。

梶川委員 私たちの団体で聞くとしても、会議などがあるならば、そこで聞けるが、今年度は会議の予定が無い。

但野委員 来年度の1回目は、6月になるのか。

事務局（石川館長） 来年度は委員の改選が無いので、皆さんの都合が合うならば、6月前の実施もあり得る。

梶川委員 2年間で検討するということではダメなのか。

鈴木部会長 大掛かりなものにすることが、求められているものではないか。

事務局（小栗係長） 仮のテーマだけでも決まっていれば、進めやすいと思う。

事務局（船津係長） 次回は、選考会に時間を取られてしまうが、テーマについて、まったく議論できないわけではない。例えば、どんな市民館になって欲しいかを一人ひとり御発言いただだけでもよいのではないか。

(2) その他

特になし

7 閉会